

火山災害への備え!

「倶多楽」は、警戒が必要な活火山に指定されています。
入山の規制や避難情報などがあった場合は速やかに従い、行動しましょう。

倶多楽は
活火山なんだよ!



噴火に備えて

噴火に備えて、また実際に噴火が発生した場合に落ち着いて行動できるように、日頃から以下のことに心掛けましょう。



防災マップを見て避難場所を確認しましょう。



気象庁などが発表する情報に注意しましょう。



噴火に備えて非常時の持ち出し品を準備しましょう。

噴火警報について

気象庁では、火山活動の状況に応じ噴火に関する警報・予報を発表しています。

種別	名称	対象範囲	噴火警戒レベル	火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要(状況に応じて対象地域や方法を判断)。	
			レベル4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要(状況に応じて対象地域を判断)。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活(今後の火山活動の推移に注意。入山規制)。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等(状況に応じて規制範囲を判断)。
			レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活(状況に応じて火山活動に関する情報収集、避難手順の確認、防災訓練への参加等)。	火口周辺への立入規制等(状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断)。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。		特になし(状況に応じて火口内への立入規制等)。

倶多楽の概要

● 倶多楽は、倶多楽湖とその周辺域の小火山からなる火山群の総称で、約8万年前に火山活動を開始し、大規模な軽石噴火を繰り返した後、約4万年前に小カルデラ(倶多楽湖)を形成しました。小カルデラの形成後、現在の日和山、大湯沼、地獄谷付近で火山活動が始まり、日和山の潜在ドームや地獄谷、大湯沼などの爆裂火口が形成されました。

● 倶多楽は、過去8,000年間に12回以上噴火し、その多くは水蒸気爆発で、最新の噴火は約200年前です。このときは、日和山、大湯沼、地獄谷などの7カ所以上の火口で水蒸気爆発が起こりました。

● 倶多楽は、現在でも活発な噴気活動が認められ、将来も小規模な水蒸気爆発を引き起こす可能性があると考えられています。

倶多楽防災鳥瞰マップ

